

2020年度事業報告書

自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月 31日

1. 調査研究事業（公益的分野）

（1）岩手県の経済、産業に関する特別調査

- | | |
|--|------|
| ① 本県におけるSDGsへの取組みの現状と課題 | 6月号 |
| ② 成長が期待される本県ヘルスケア産業の動向
～新産業創出に取り組む地場企業の挑戦～ | 7月号 |
| ③ 本県におけるシェアリングエコノミーの取組みの現状と課題 | 9月号 |
| ④ 本県におけるりんごのブランド化と国内外の需要拡大に向けた動向 | 10月号 |
| ⑤ めん羊を活用した地域振興の取組み | 11月号 |
| ⑥ 東北ディスティネーションキャンペーンの開催を迎える本県の観光動向
～コロナ禍で創る新しい観光のかたち～ | 2月号 |
| ⑦ 東日本大震災から10年 ～県内企業に残る震災の影響～ | 3月号 |
| ⑧ 本県のアパレル産業の現状と課題 | 4月号 |

（2）岩手県の経済、産業に関する定例調査

- | | |
|----------------------------|------|
| ① 岩手県内経済の動き（経済解説） | 毎月 |
| ② 岩手県内経済 2020年度上期の回顧と下期の展望 | 10月号 |
| ③ 岩手県内経済 2020年度の回顧と21年度の展望 | 4月号 |

（3）ILC実現に向けた取り組み

ILCの国内誘致に向け、各方面での様々な取り組みを昨年度に引き続き「シリーズ・ILCへの期待と課題」として取り上げ機関誌に掲載した。

8月号、11月号、2月号

（4）北東北3シンクタンク情報連絡協議会

当研究所、あおもり創生パートナーズ、秋田経済研究所の北東北3シンクタンクにおいて情報交換を行った。

（5）マスメディアを通じた研究成果の発信強化

各種調査内容をニュースリリースとして発信し、岩手日報等の新聞に取り上げられたほか、テレビ局からの取材要請を受けて番組でインタビューに応じるなど、当研究所の事業を広く周知する活動に努めた。

2. 経営相談事業（公益的分野）

（1）税理士、弁護士、社会保険労務士による定例相談

- | | |
|------------------|-------------|
| ① 税金相談（開催回数 49回） | 相談日：毎週金曜日 |
| ② 法律相談（開催回数 12回） | 相談日：毎月第3木曜日 |
| ③ 年金相談（開催回数 12回） | 相談日：毎月第1火曜日 |

(2) 相談件数

(単位：先)

	相談項目	実績	前年度実績	前年度比増減
相談業務	経 営	53	58	△5
	(人事・労務)	28	23	5
	(財 務)	13	5	8
	(その他)	12	30	△18
	税 務	58	65	△7
	(所得税)	23	14	9
	(相続・贈与税)	19	22	△3
	(法人税)	9	15	△6
	(その他)	7	14	△7
	法 律	30	48	△18
	(民 法)	26	40	△14
	(商法・会社法)	2	3	△1
	(その他)	2	5	△3
	経済動向	10	11	△1
	(業界動向)	9	9	-
	(その他)	1	2	△1
	年 金	23	47	△24
	計		174	229

(3) 税務、法務、経営に関する情報提供

機関誌 8月号において 2020 年度税制改正のポイントについて、11月号で民法改正に係るポイントを解説記事として掲載した。

3. 受託調査事業（収益的分野）

(株)岩手銀行からの調査受託

- ① 岩手県の経済、産業に関する定例調査
 - a. 県内経済の動向（行内用「調査特報」） 毎月
 - b. 経済諸指標 毎月
 - c. 財務省盛岡財務事務所ヒアリング資料「県内経済動向」 4回
- ② 岩手県の経済・企業経営・消費生活に関するアンケート調査
 - a. 県内企業の景況調査 4回
 - b. いわて景気ウォッチャー調査 4回
 - c. 2020 年度県内企業の設備投資計画調査 2回
 - d. 県内のボーナス使途調査と支給総額予測 2回
 - e. 2020 年度新入社員の意識調査 1回
 - f. 2021 年の県内業界見通し 1回
- ③ 講演会などに係る資料提供 随時

- ④ 行員研修への講師派遣
- a. 新入書記・書記補研修会(テーマ：岩手県の経済と産業、ビジネスマナー) 各1回
- b. 融資SP研修会(テーマ：岩手県の経済と産業) 1回
- c. 事業性融資基礎研修会(テーマ：信用調査の実務) 1回

4. 出版事業(収益的分野)

(1) 機関誌「岩手経済研究」の発行

2020年5月号～2021年4月号の発行累計 47,530冊(1か月平均3,961冊)

<主要記事>

① 特別調査、経済解説、調査レポート

「1. 調査研究事業」、「2. 経営相談事業(税務に関する情報提供)」「3. 受託調査事業(岩手銀行からの調査受託)」に記載の特別調査、定例調査、アンケート調査等の結果を掲載

② 論文・解説

5月号 中小企業による能動的IoT利活用
～経営戦略論におけるビジネスモデルの観点からの考察～
(岩手県立大学総合政策学部 准教授 近藤 信一 氏)

8月号 令和2年度岩手県当初予算と新型コロナウイルス感染症対応のための
補正予算の概要
(岩手県総務部 参事兼財政課総括課長 小原 重幸 氏)

12月号 岩手県人口ビジョン、第2期岩手県ふるさと振興総合戦略について
(岩手県政策企画部 部長 八重樫 幸治 氏)

1月号 新型コロナの逆風が続く2021年の日本経済
～ワクチン普及で景気が大幅に上振れする可能性も～
(大和総研シニアエコノミスト 神田 慶司 氏)

③ シリーズ・ILCへの期待と課題

8月号 ILCの最近の動向と岩手県の取組について
(岩手県ILC推進局 副局長兼事業推進課総括課長
高橋 毅 氏)

11月号 国際リニアコライダー計画の最近の状況と地域の活動
(岩手大学理工学部 教授 成田 晋也 氏)

④ 我が社のイチオシ

賛助会員企業の独自の技術や新商品などを紹介するコーナーとして、2020年5月号から2021年4月号まで計24社の記事を掲載した。

掲載号	会社名
5月号	(有)小島製菓、(社福)成仁会
6月号	(株)松栄堂、銀河フーズ(株)
7月号	(有)藤原アイスクリーム工場、(有)福田パン
8月号	(株)ジョブ・パートナー、(株)回進堂
9月号	(有)あさひ薬局、(有)志賀煎餅店

10月号	(株)吉田測量設計、(株)小友木材店
11月号	新興電気(株)、世嬉の一酒造(株)
12月号	(有)ヤマキイチ商店、巴染工(株)
1月号	(有)かんのシューズ、(株)菊池技研コンサルタント
2月号	トヨタカローラ南岩手(株)、(有)東北エヌティエス
3月号	(株)ヘラルボニー、(株)紫波フルーツパーク
4月号	タイヨー(株)、永薬品商事(株)

⑤新型コロナウイルス関連

- 7月号 COVID-19アウトブレイク：クルーズ船症例研究記
(特別寄稿：セルスペクト(株) 代表取締役 岩渕 拓也 氏)
- 8月号 東日本大震災被災企業を対象とした新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査
(学術調査レポート：岩手県立大学総合政策学部 教授 栗田 但馬 氏)

(2) 機関誌付録 (小冊子)

- 8月号 「常識を疑い、営業を変える 新規需要創出の壺」 2,400部
- 10月号 「本田宗一郎のDNA 実践!!イノベーション」 2,400部
- 4月号 「マグロ船流 業績を上げる コミュニケーション術」 2,400部

5. 研修事業 (収益的分野)

(1) 研修会開催

① 新入社員研修会

実施日	会場	研修テーマ	講師	受講者
7月2日	アイーナ	新入社員の心構え	当研究所職員	24社 34名
7月8日		職場のマナー		20社 35名
7月9日		仕事のすすめ方		12社 24名
7月14日	イオンタウン釜石	言葉づかい・敬語		8社 16名
7月28日	アイーナ	接客対応の基本 電話対応の基本		13社 21名

※ 本研修は例年3月下旬～4月上旬にかけて実施しているが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み7月の開催としたもの。これにより、夏季ビジネスセミナーは中止とした。

② 秋季ビジネスセミナー

実施日	会場	研修テーマ	講師	受講者
11月2日	アイーナ	OJTセミナー	日本マネジメント協会 野口 裕一氏	16名
11月13日	アイーナ	リーダーシップセミナー	日本マネジメント協会 會田 慶宏氏	33名
11月16日	アイーナ	新入社員フォローセミナー	岩手経済研究所員	22名

※ 本研修は例年外部講師による3講座と当研究所員が講師を務める新入社員フォローセ

ミナーの計4講座(4日間)としているが、アイーナの利用制限や同ウイルスの感染防止対策の観点から午後の開催とし、講座数も3つに絞って実施した。

③ 冬季ビジネスセミナー

実施日	会場	研修テーマ	講師	受講者
2月8日	アイーナ	接客・応対に関するセミナー	(株)aiビジネス 代表取締役 中村 夢美子	24名
2月16日	アイーナ	財務・会計に関するセミナー	経営相談部長 熊谷 誠	30名

(2) 講師派遣

派遣件数8件

6. 会員の拡大

理事、部長等による各営業店への依頼訪問など加入勧誘活動を展開したが、3月末の会員数は3,298口(うち賛助会員2,330口)となり、前年度末対比で62口(うち賛助会員43口)減となった。

7. 業務の見直し・効率化

(1) ICT・BPRによる効率化の推進

書庫の移転に伴う保存簿書期限の見直しを行い、ペーパーベースでの記録媒体の整理を進めた。また、決算書類、セミナー受付事務等ほか、毎月発生するルーティンワークにおいても可能な限り省力化を図っている。

(2) 収支予算の中間期見直し

職員数の異動や受託業務収入の増加等で当初予算と収支実績に大きな乖離が生じた場合、中間期時点で予算の見直しを行い年間での効率的な運用に資することとしていたが、今期は実績と予算の乖離幅が小さかったことから、見直しは行わなかった。

8. 人材育成の強化と外部研究機関等との連携強化

(1) 専門性の向上

研究員および女性職員の外部研修やセミナー等への派遣(ウェブ参加含み) 19回

(2) 友好研究機関との連携強化

第1回地域経営研究会(ほくとう総研主催(会場:岩手県立大学))へ4名参加(会場およびウェブ)し、地域資源の有効活用や企業による地域活性化について参加したシンクタンク等と意見を交わすなど連携に努めた。

また、他のシンクタンクとの情報交換については新型コロナウイルスへの対応の兼ね合いから、電話および書面ならびにウェブを中心に随時行った。

(3) 岩手銀行との連携強化

銀行子会社の地域商社であるmanordaいわて(株)との連携を図り、受託業務2件について協働し取組んだ。

9. コンプライアンスの徹底、BCPの運用・管理

(1) コンプライアンスの徹底

- | | |
|--------------------------------|-----|
| ① コンプライアンスチェックシートによる法令等遵守状況の点検 | 12回 |
| ② コンプライアンス研修会の開催 | 2回 |
| ③ コンプライアンス委員会の開催 | 2回 |

(2) BCP（事業継続計画）の運用・管理

- ① 所内態勢および有事の際の行動基準等を期初に徹底した。
- ② 人事異動にあわせて所内態勢の見直しを行った。

10. 公的機関等からの委員委嘱

2021年3月31日現在で、県内の公的機関等が設置した各種委員会・審議会からの委嘱は12件。

11. 庶務事項

(1) 理事会の開催状況

- | | |
|---------|-----------------------|
| 第29回理事会 | 2020年5月20日（水）※書面開催 |
| 報告事項 | 第2次中期経営計画の推進結果について |
| 第1号議案 | 2019年度事業報告について |
| 第2号議案 | 2019年度決算報告について |
| 第3号議案 | 公益目的支出計画実施報告書等の提出について |
| 第4号議案 | 基本財産の処分について |
| 第5号議案 | 第8回定時評議員会の招集について |
| 第30回理事会 | 2020年10月22日（木） |
| 第1号議案 | 2020年度中間事業報告について |
| 第31回理事会 | 2021年3月24日（水）※書面開催 |
| 第1号議案 | 2020年度収支予算の補正について |
| 第2号議案 | 2021年度事業計画（案）について |
| 第3号議案 | 2021年度収支予算（案）について |
| 第4号議案 | 自己取引に該当する取引について |

(2) 評議員会の開催状況

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 第8回定時評議員会 | 2020年6月15日（月）※書面開催 |
| 報告事項1 | 第2次中期経営計画の推進結果について |
| 2 | 第3次中期経営計画の策定について |
| 3 | 2019年度事業報告について |
| 4 | 2020年度事業計画について |
| 5 | 公益目的支出計画実施報告書等の提出について |
| 第1号議案 | 2019年度決算報告について |
| 第2号議案 | 基本財産の処分について |
| 第3号議案 | 評議員、理事の選任について |

(5) 公益目的支出計画の実施

2019年度の公益目的支出計画実施報告書を6月8日付で行政庁（岩手県）に提出し、同日受理された。

以 上